

青森県教育施策の方針の解説

1 県教育委員会が目指す人間像（基本目標）について

豊かな心と郷土に対する誇りを持ち

人々が自らの生き方を実現するためには、様々な地域や人間関係の中で、他と協調し自立した生活を営むための社会性や相手に対する思いやりなど、豊かな心を身に付けることが求められるとともに、自らの存在に自信を持ち、広い視野に立って行動する力が求められる。

このため、豊かな心を持つ人間の育成を掲げるとともに、新たに、郷土に対する誇りを持つ人間の育成を盛り込み、郷土の自然や歴史・伝統・文化に触れることで地域社会の一員であることの自覚を深め、主体的に行動し、様々な地域において活躍できる人間の育成を目指すものである。

健康で、創造性に富み

変化の著しい社会では、新しい事態に柔軟に対応するため、心身ともに健康で、自らの生き方を創造的に切り拓いていく力が求められる。

このため、健康で創造性に富んだ人間の育成を掲げ、前述の豊かな心とともに、いつの時代においても変わらない教育の普遍的な目標である「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成を目指すものである。

新しい時代を主体的に切り拓く

これからの世の中においては、社会や時代が進もうとしている方向を的確に捉え自己実現のために積極果敢に行動する力が求められる。

このため、自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、行動する力や他者を理解するためのコミュニケーション能力を身に付け、変化の著しい社会やグローバル時代に生きるチャレンジ精神に満ちた人間の育成を目指すものである。

人づくりを目指し

新しい時代を主体的に切り拓く人間を育成するためには、学校・家庭・地域社会が一体となった取組みが求められる。

このため、「教育は人づくり」であるという原点に立ち、学校を核とした「人づくり」の教育の在り方について、関係者の共通理解を図るとともに、学校教育、社会教育、文化、スポーツの各教育分野がそれぞれの持つ教育の特性を生かしながら、次代を担う人間の育成を目指すものである。

2 各教育分野が目指す目標（分野別目標）について

個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育

子どもたちが、新しい時代を主体的に切り拓く人間として成長するためには、一人一人の特性等を十分理解し、よさや可能性を生かして、自ら課題を見つけ、考え、判断し、問題を解決できる確かな学力や他人を思いやる心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力など「生きる力」を身に付けさせるとともに、向上心や学ぶ意欲の源となる夢や希望を抱かせる教育を展開する必要がある。

このため、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育を推進するものである。

一人一人の学習と社会参加を実現する社会教育

変化の著しい社会では、充実した生活を送るため、新たな知識や技術を学ぶことが求められる。また、学習で身に付けた知識や技術を、ボランティア活動などを通して社会の中で生かしたいと考える人が増えている。

このため、一人一人の学習や社会参加を実現する社会教育を推進するものである。

未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用

郷土の自然や歴史・伝統・文化に触れることは、郷土愛や豊かな心を育み、自分に対する自信や誇りを持つことにつながる。

このため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用を推進するものである。

活力と感動を生み出すスポーツ

心身ともに健康であることは、人づくりの基盤をなすものである。

スポーツを行うことにより、体力の向上や健康の増進など、健やかな心や体を育むための「活力」が生まれるとともに、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など、スポーツに触れることで生まれる感動は、豊かな心を育むことにつながる。

このため、スポーツを生活の中に位置づけ、誰もが生涯を通じて健康で明るく豊かな生活を送ることができるよう、活力と感動を生み出すスポーツを推進するものである。